

Hirata

The Global Production Engineering Company

2018年3月期 第3四半期 決算説明資料

平田機工株式会社



I. 決算状況

2018年3月期 第3四半期

Hirata

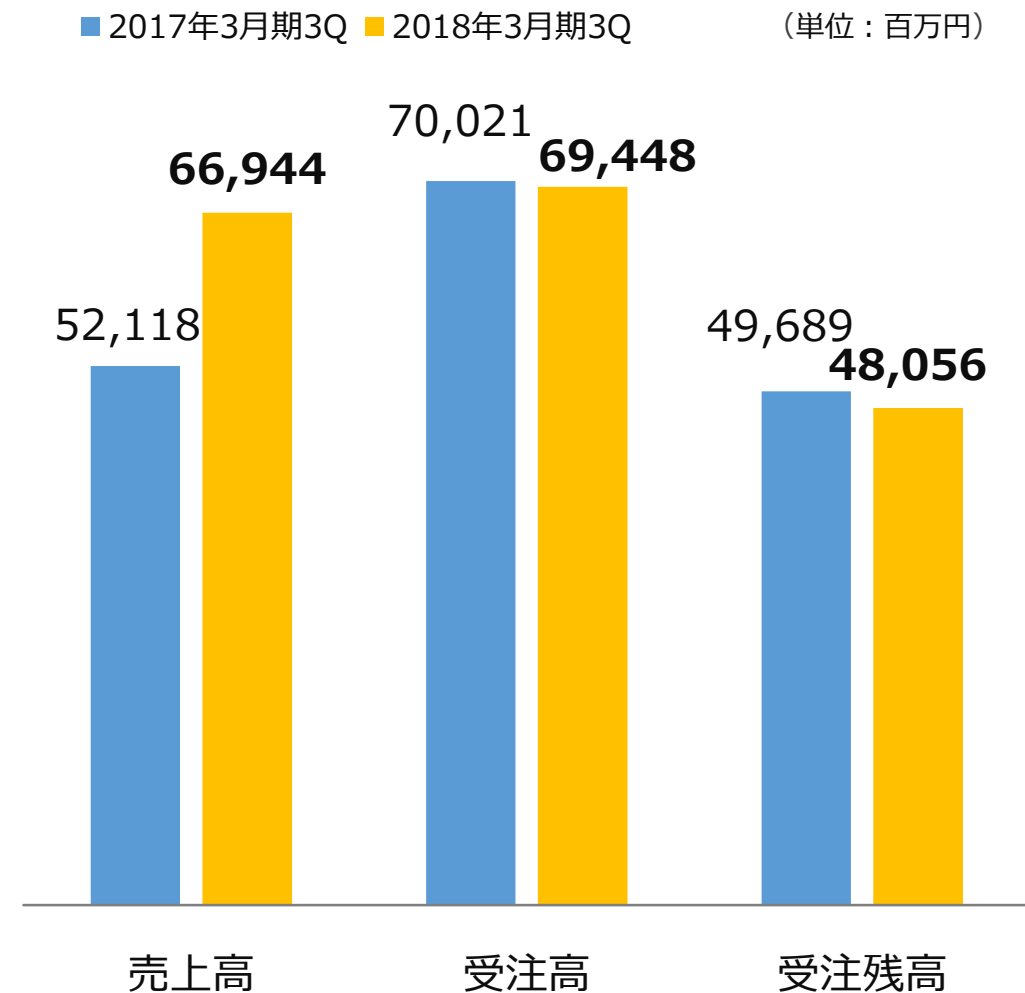


決算概要

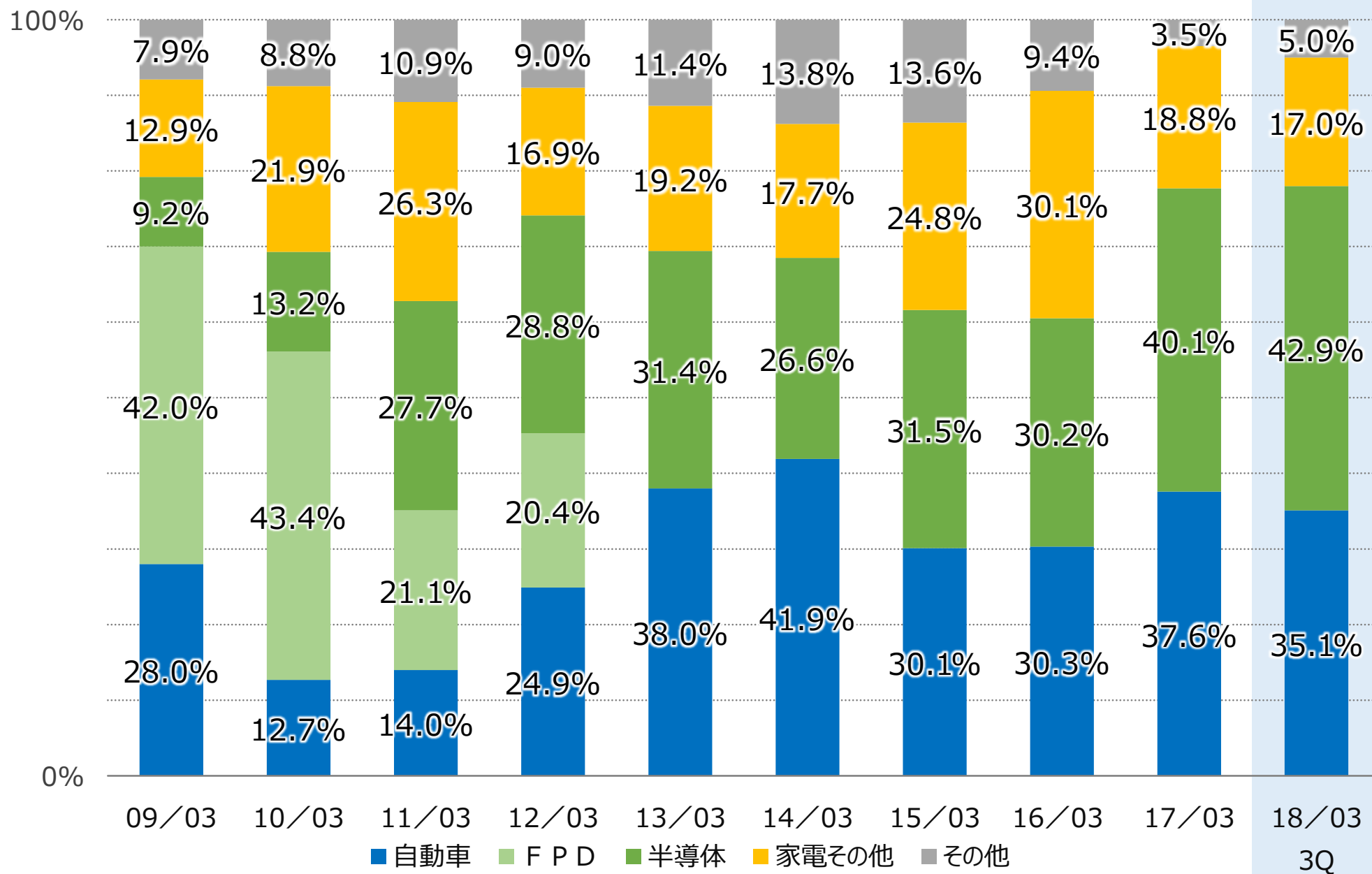
半導体関連生産設備事業における有機ELパネルの蒸着装置および自動車関連生産設備事業における北米メーカー向けのパワートレイン関連設備の売上が継続好調であり、増収となりました。

(単位：百万円)

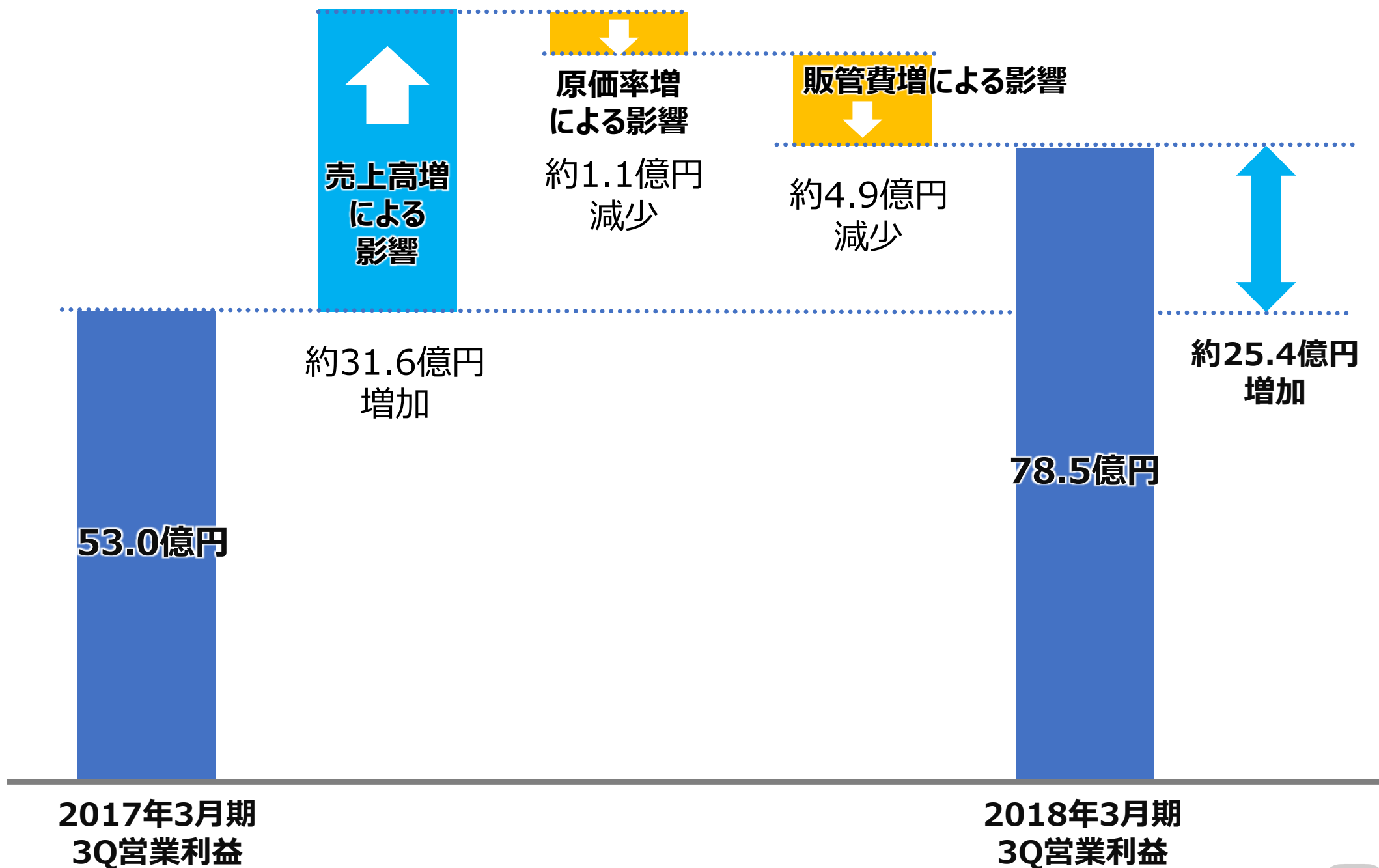
	2017年3月期 3Q実績	2018年3月期 3Q実績	増減率
売上高	52,118	66,944	+28.4%
営業利益	5,309	7,859	+48.0%
経常利益	5,049	7,717	+52.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,665	5,347	+45.9%



I 決算状況 事業部門別売上高構成比推移



※2013年3月期より、FPD関連事業は半導体関連事業に統合



貸借対照表

(単位：百万円)

資産	2017年 3月期	2018年 3月期3Q	増減
流動資産	67,466	77,034	+9,568
固定資産	20,780	22,351	+1,570
有形固定資産	16,248	16,441	+192
無形固定資産	623	780	+156
投資その他資産	3,907	5,129	+1,221
資産合計	88,246	99,386	+11,139

負債	2017年 3月期	2018年 3月期3Q	増減
流動負債	48,217	41,168	△7,049
固定負債	12,457	12,678	+221
負債合計	60,674	53,846	△6,828
純資産			
純資産合計	27,571	45,539	+17,967
自己資本比率	30.9%	45.4%	+14.5Point

主な増減項目

資産

現金及び預金	+6,059
仕掛品	+5,793
売上債権	△2,164

負債・純資産

資本剰余金	+11,872
有利子負債	△2,450
仕入債務	△2,092

想定為替レート

(単位：円)

想定為替レート	2017年4月1日～12月31日 実績レート	2018年1月1日～ 想定レート
為替レート (対US \$)	112.03円	100.00円

株価推移

(単位：円)

株価推移	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年3月期		
			10月	11月	12月
最高	3,100	9,560	12,820	14,720	12,610
最低	782	2,275	10,970	12,190	11,330
末日	2,752	9,010	12,720	12,370	11,650

PER/PBR/ROE

PER/PBR/ROE	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期3Q
PER (倍)	16.08	14.43	—※
PBR (倍)	1.22	3.12	2.76
ROE (%)	8.00	24.30	—※

※PER・ROEについては、四半期の利益では比較に適さないため記載しておりません。

I 決算状況 事業部門別売上高・受注高・受注残高

(単位：百万円)

	事業部門	2017/3 第3四半期	2018/3 第3四半期	対前年同期比 増減率
売上高	自動車	17,550	23,479	+33.8%
	半導体	22,589	28,710	+27.1%
	家電関連およびその他	9,745	11,373	+16.7%
	その他	2,232	3,381	+51.4%
	合計	52,118	66,944	+28.4%
受注高	自動車	30,465	21,307	△30.1%
	半導体	27,272	31,848	+16.8%
	家電関連およびその他	8,608	14,462	+68.0%
	その他	3,675	1,829	△50.2%
	合計	70,021	69,448	△0.8%
受注残高	自動車	28,081	23,213	△17.3%
	半導体	13,496	16,051	+18.9%
	家電関連およびその他	5,751	7,966	+38.5%
	その他	2,359	825	△65.0%
	合計	49,689	48,056	△3.3%

I 決算状況 海外現地法人の状況

所在地別売上高



	日本		アジア		北米		欧州		合計	
	17/3 3Q	18/3 3Q	17/3 3Q	18/3 3Q	17/3 3Q	18/3 3Q	17/3 3Q	18/3 3Q	17/3 3Q	18/3 3Q
売上高	45,208	56,487	3,502	5,523	3,098	4,445	307	489	52,118	66,944
営業利益	5,257	7,184	△36	354	144	562	13	△18	5,379	8,082

※営業利益の合計はセグメント間の消去を行う前の金額を表示しています。

有機EL関連・電気自動車関連状況

● 有機EL関連および電気自動車関連生産設備ともに高い水準で受注・売上に寄与

(単位：百万円)

	2017年3月期3Q		2018年3月期3Q	
	受注高	売上高	受注高	売上高
有機EL関連	16,575	12,992	18,027	17,161
電気自動車 (EV) 関連	9,564	1,066	2,078	5,926

● 有機EL関連

有機EL関連の売上は、前年同期比約32%増となり、半導体関連の売上のうち、約60%と大きな割合を占めております。また、受注高は前期同期比と同等の高い水準となっております。

● 電気自動車 (EV) 関連

電気自動車関連は、自動車関連の売上のうち約25%となります。

主力であるパワートレインに続く割合となっており、業績に大きく貢献しております。

お客さまからの表彰・受賞の実績を紹介

弊社は、キヤノトツキ株式会社（以下、キヤノトツキ社）から有機ELパネルの生産設備の心臓部である真空蒸着装置（写真右下）を継続して受注しております。

今般、キヤノトツキ社の有機ELパネル生産設備事業に貢献したとして、「ベストパートナー賞」を受賞いたしました。これは、弊社が同社に納品している真空蒸着装置において、技術力・生産能力などを高く評価いただいたものと考えます。今後も継続する同社からの受注に対し、より高い信頼を得られる製品を提供してまいります。



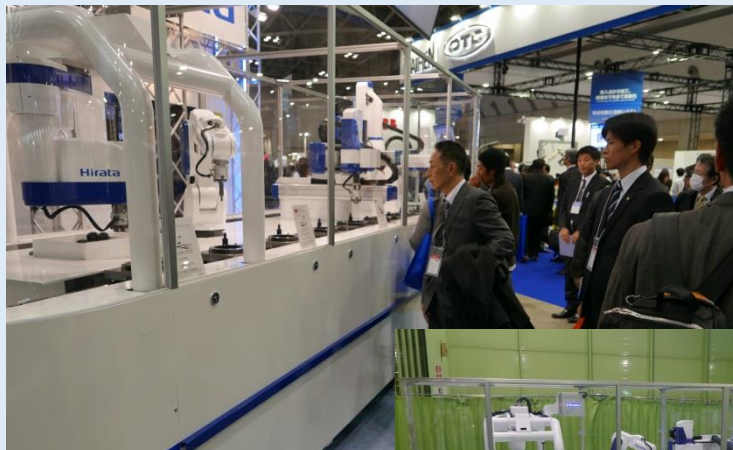
キヤノトツキ株式会社 代表取締役社長兼COO
鶴澤 繁行 氏と一緒に



真空蒸着装置（イメージ）

国際展示会への出展

弊社は、2017年11月29日～12月2日、東京ビッグサイトにて開催された「2017国際ロボット展」に出展いたしました。その内容は、垂直多関節ロボット、水平多関節ロボット、直交型ロボットを計5台組み合わせた3Dピッキングによる組立ラインのデモ、IoTを活用して生産ラインの遠隔管理や保守サービスができるスマートファクトリー（2017年10月19日、株式会社インターネットイニシアティブとの協業を発表）の紹介、3次元CADによるバーチャルリアリティ工場見学の体験などであり、汎用ロボットメーカーとは異なる、機械・ソフト設計、プログラムなどのものづくりからIoTまで提供できるシステムインテグレータ(Sier)としての技術力をアピールいたしました。



ロボット5台による
組立ラインのデモ



スマートファクトリーの紹介



2020年完成予定 熊本 新工場の着工

弊社は、熊本工場の敷地内に、3階建ての本社棟（延べ床面積6,000㎡）、4階建ての工場棟（15,841㎡）を一体化した本社/2棟工場を建設いたします。

2016年の熊本地震をうけ、建物の安全性も考慮し、一番古い工場を建て替え、みんなが安全に働ける場所として、世界中のお客さまに誇れる工場を目指します。また、弊社の事業を通して、熊本の雇用促進、経済向上を図り、地域に貢献したいと考えております。

新工場は、2018年1月15日に着工し、2020年1月に完成予定です。



新工場のイメージ



安全祈願祭での社長あいさつ

地域貢献 熊本の支援・応援

以下の地域支援を通して、熊本復興の一助となるよう努めてまいります。

- ロアツソ熊本のメインスポンサー

2018年2月1日より、サッカーリーグ ロアツソ熊本のユニフォームスポンサーになりました。ロアツソ熊本の理念「県民に元気を、子ども達に夢を、熊本に活力を」に共感し、これからの活動を応援してまいります。

- 熊本城マラソン

2月18日開催の熊本城マラソンのスポンサーとなり、熊本開催のイベントを支援・応援いたします。



ロアツソ熊本
弊社コーポレートシンボル入りのユニフォーム

あなたの走りが、
熊本を笑顔にする!!

平田機工

熊本復興応援スポンサー

熊本城マラソンの
ポスターなど



Ⅱ. 2018年3月期業績の見通し

2018年3月期 第3四半期

Hirata



※業績予想に修正はありません。

(単位：百万円)

	2017年3月期 実績		2018年3月期 予想	
売上高	80,542		90,000	
自動車関連	30,267		34,000	
半導体関連	32,289		34,000	
家電関連およびその他	15,165		18,000	
その他	2,819		4,000	
営業利益（率）	8,247	(10.2%)	9,000	(10.0%)
経常利益（率）	8,039	(10.0%)	8,800	(9.8%)
親会社株主に帰属する 当期純利益（率）	5,891	(7.3%)	6,000	(6.7%)

通期業績予想の理由および事業計画達成のための施策

- 自動車関連では、トランスミッションなどのパワートレイン関連の生産設備の受注は堅調であり、低燃費エンジンや電気自動車（EV）などの大型引合案件のさらなる受注確保に向けて取り組む。
- 半導体関連では、有機ELパネルの蒸着装置、ウェーハ搬送装置共に堅調に推移。
- 生産高が高水準で推移するため、負荷調整に取り組みつつ、売上高の確保を図る。

自動車関連事業

自動車の販売台数は、米国が軟調となり、中国も減税効果低減で鈍化する。一方、日本や欧州、インド、ASEANなどでの販売増加が見込まれる。また、国内は、需要が回復し、堅調推移の見通し。弊社は、トランスミッションなどのパワートレイン関連生産設備を中心に堅調推移の見込み。

半導体関連事業

半導体関連市場においては、自動車や家電など、さまざまな製品に半導体製品が使用されるようになったことから引き続き拡大。有機ELパネルにおいては、パソコン、スマートフォン、タブレットへの供給が本格開始される見込み。ディスプレイの大型化や4K普及により市場は続伸。弊社は、有機ELパネルの蒸着装置と半導体関連装置共に堅調に推移する見込み。

家電関連およびその他

特に東南アジア諸国における高機能家電の浸透が進む見込み。弊社は、主要顧客における掃除機を中心とした高機能家電の生産設備の受注が期待できる。

Ⅲ. 参考資料

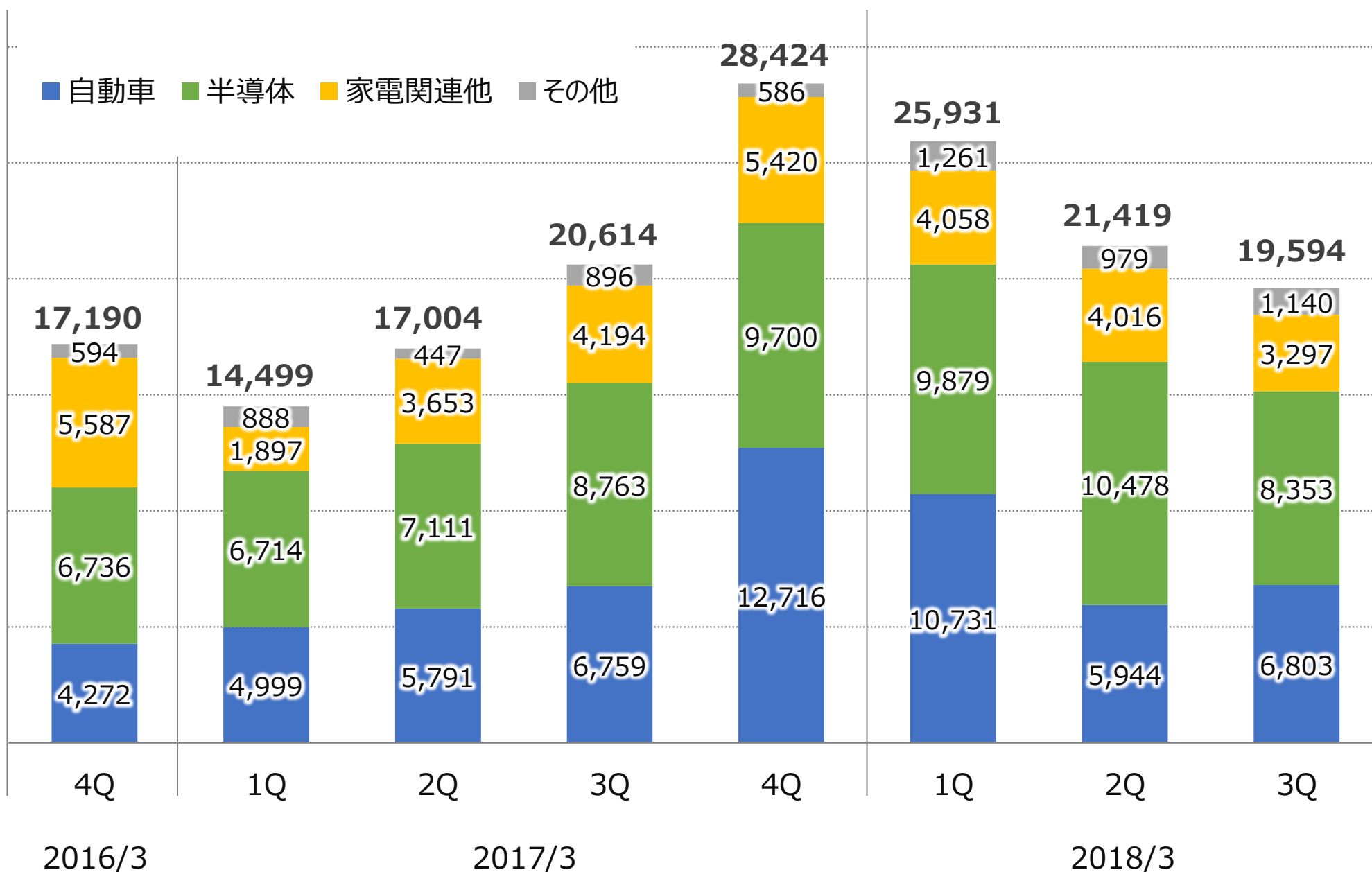
2018年3月期 第3四半期

Hirata



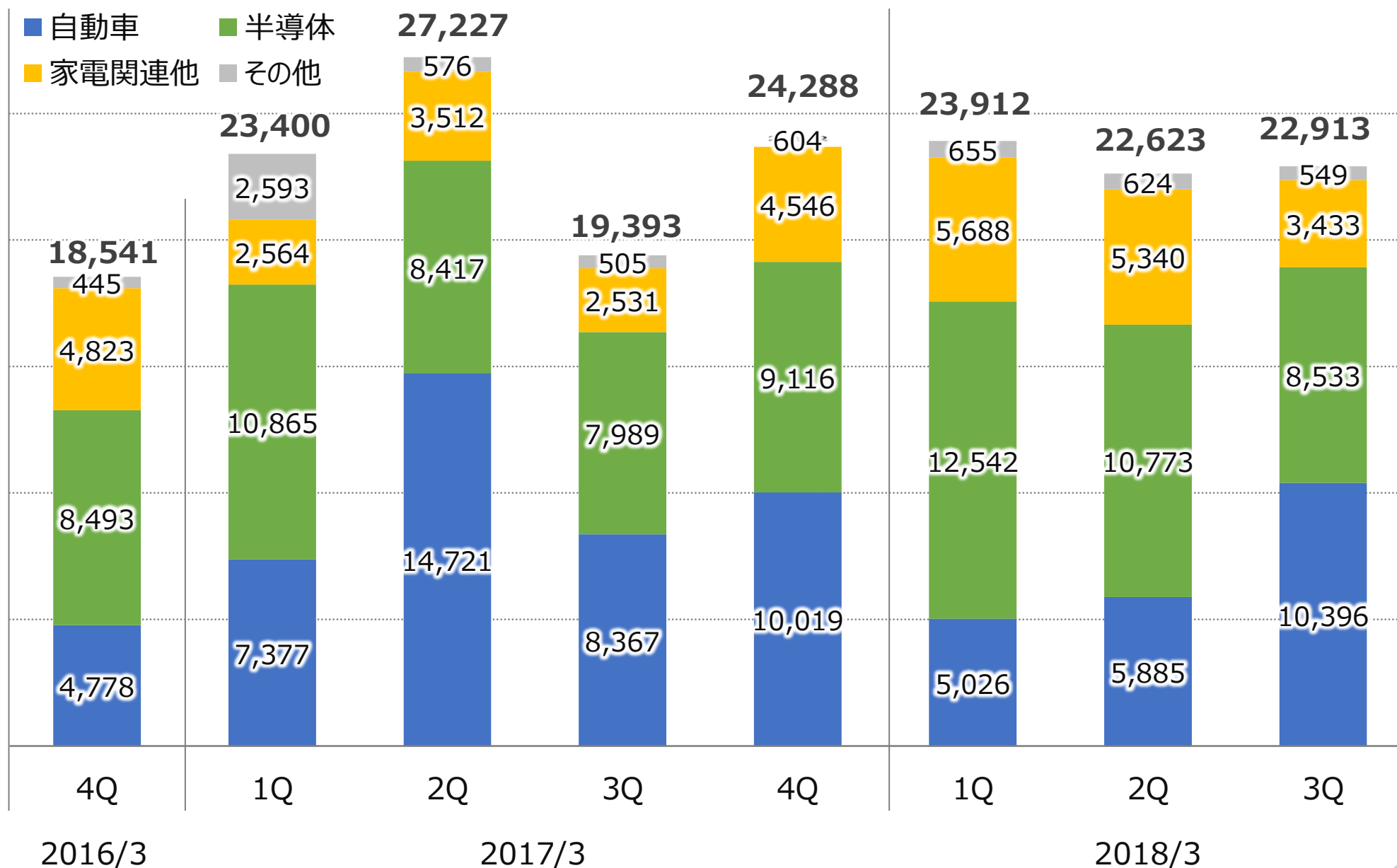
事業部門別四半期売上高の推移

(単位：百万円)



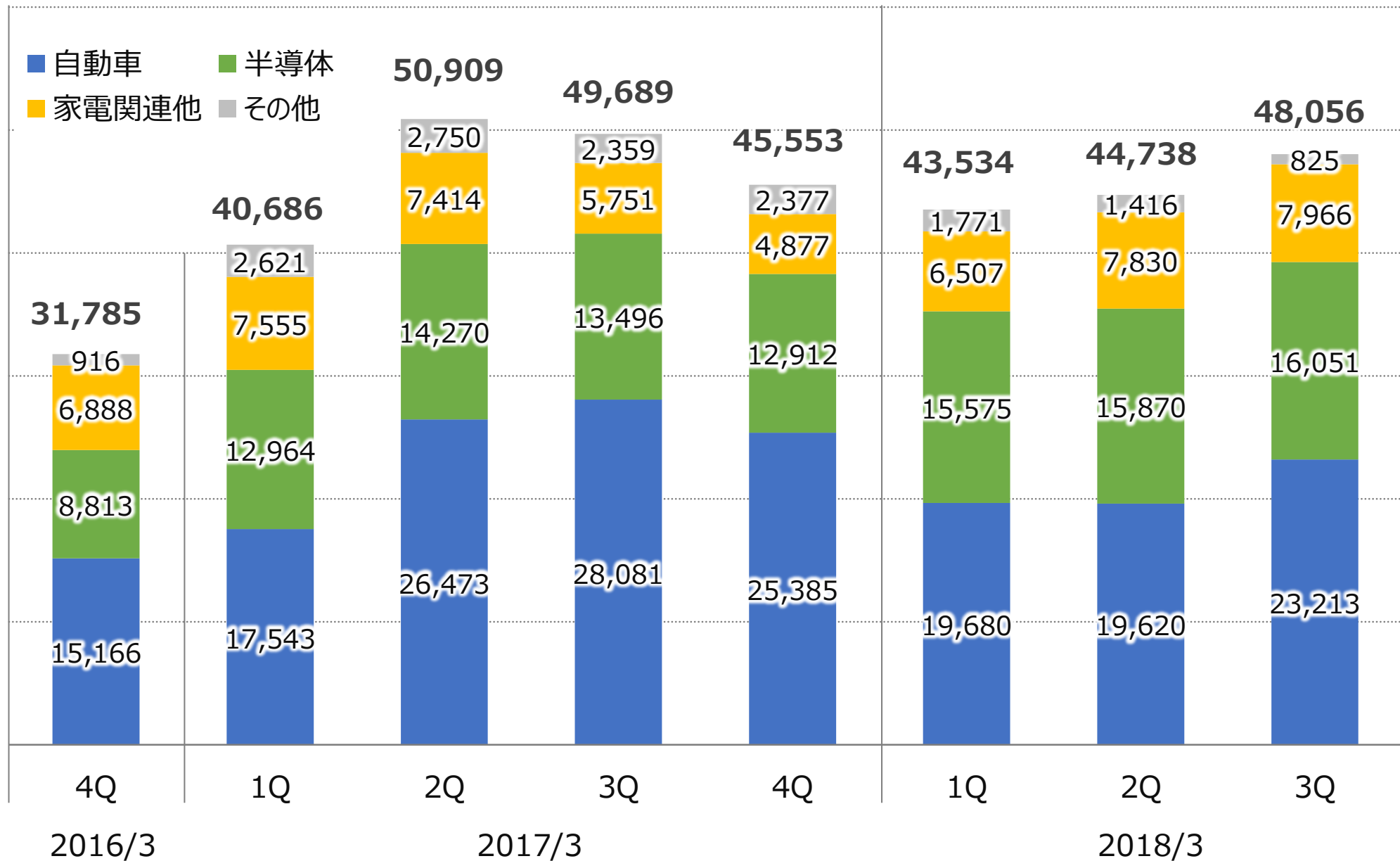
事業部門別四半期受注高の推移

(単位：百万円)

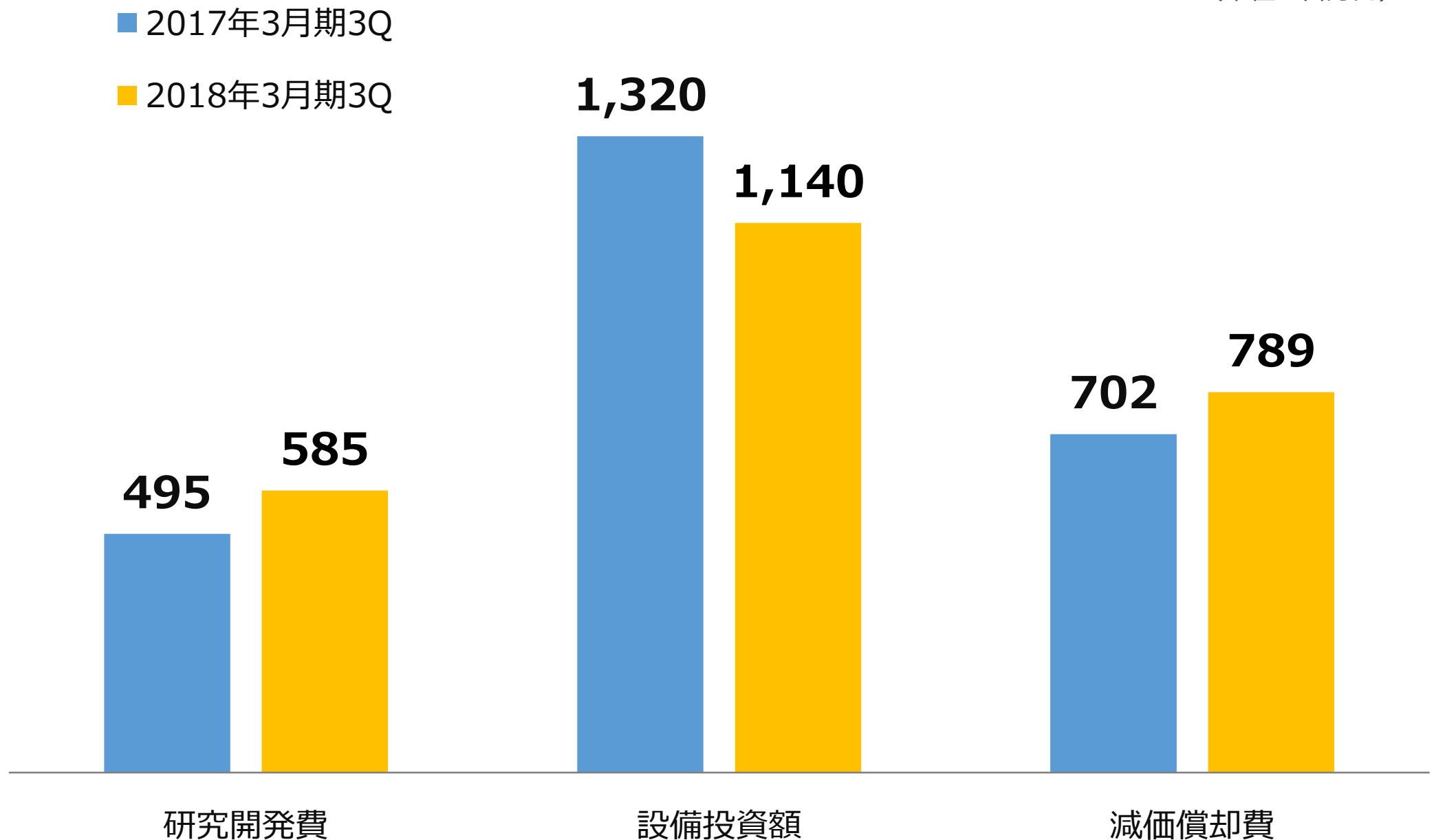


事業部門別四半期受注残の推移

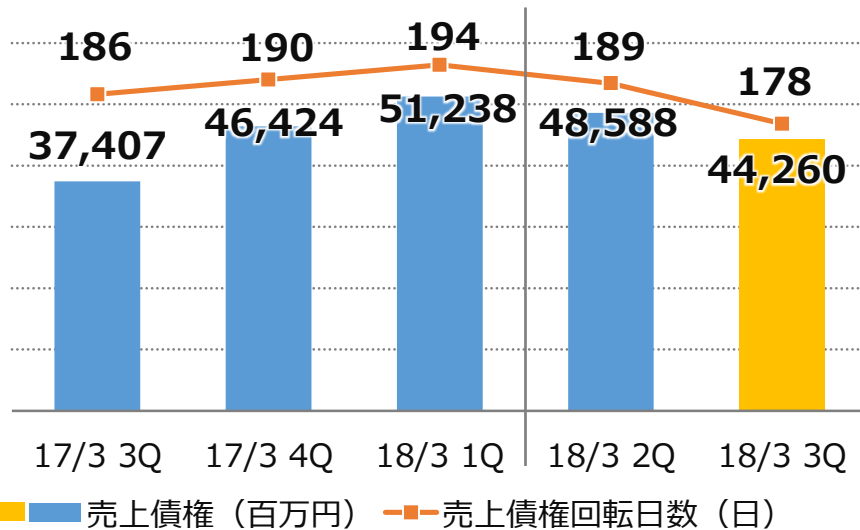
(単位：百万円)



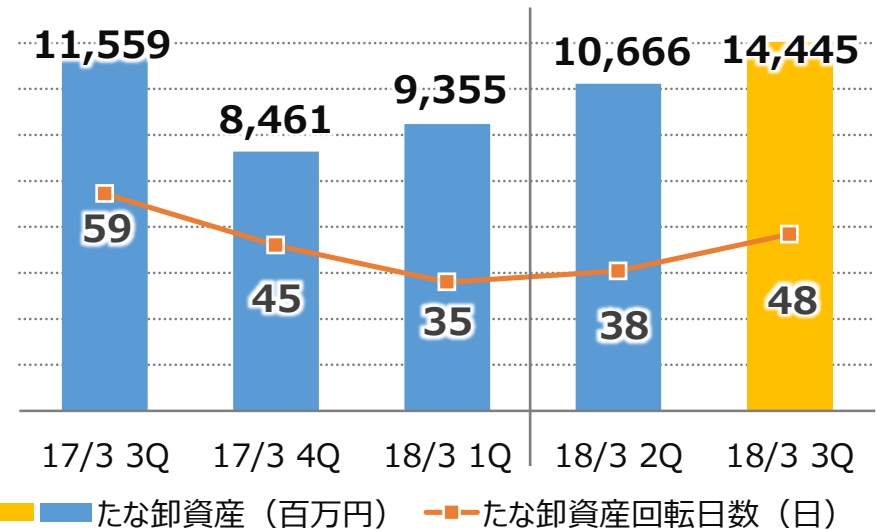
(単位：百万円)



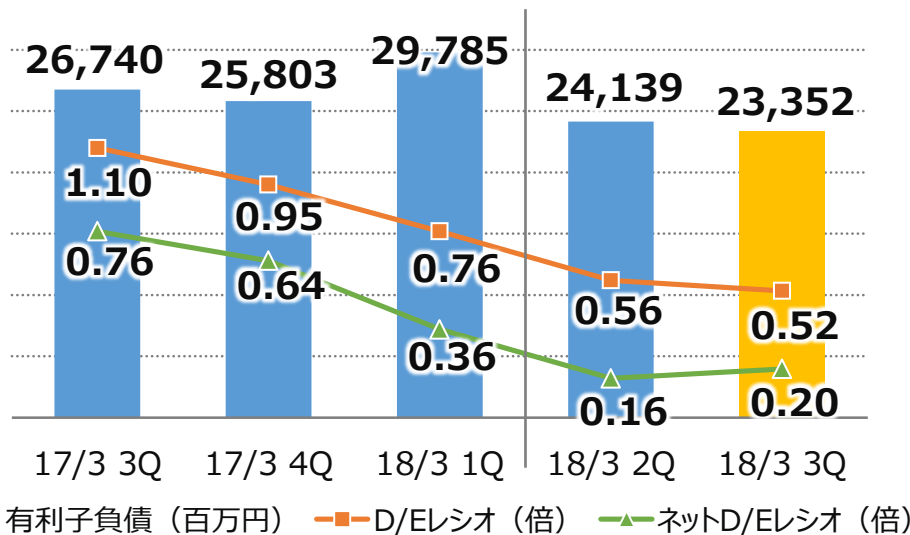
売上債権・売上債権回転日数



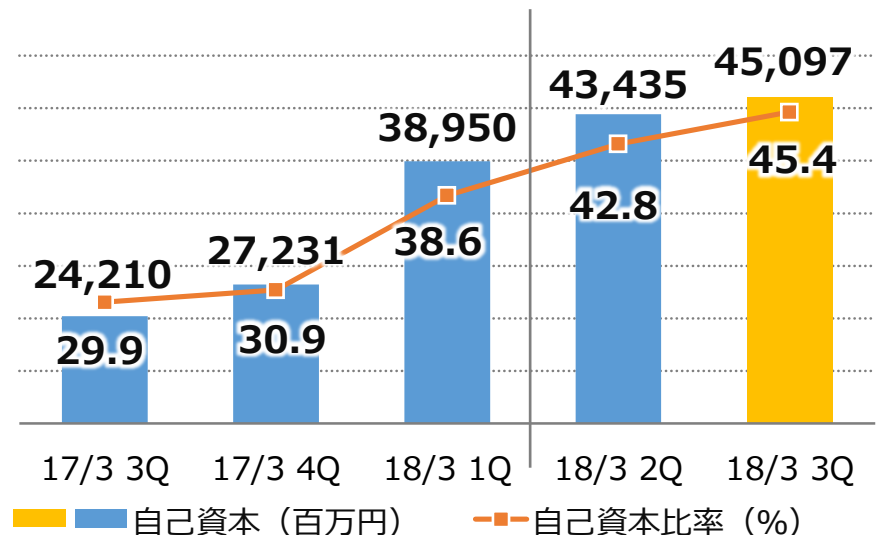
たな卸資産・たな卸資産回転日数



有利子負債残高・D/レシオ・Net D/レシオ



自己資本・自己資本比率



【注】売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。

ご注意

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化などのさまざまな要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。